

フレンズ通信

Friends news NO.15



札幌医科大学附属病院
看護キャリア支援センター

新人看護職員 研修の様子

▼7月 多重課題

重なる看護ケアの優先順位を
考える上で必要な視点を学び
ました。



▲9月 導尿・膀胱留置カテーテル

苦痛や羞恥心を伴う看護技術のため、
声かけなど安楽にも配慮しました。
また、手指消毒・手袋を着脱する
タイミングについても考え演習しました。

▼11月 フィジカルアセスメントII

臨床で日々行っているアセスメントの
思考過程を学び、観察・技術の復習も
行いました！



新人看護職員の皆さん！ 研修お疲れ様でした(^^)



フィジカルアセスメントの講師と共に(^^)v

フレンズインタビュー ラッキーライラック



今回のラッキーライラックは、
北4階病棟の指導主任看護師木曾好恵さんです！

木曾さんは、今まで内科・外科病棟でのキャリアがあり、2人の子育てをしながら夜勤もこなし、育児と仕事を両立されています。多忙な日々に加え今回10月に東京で開催した、「救急患者精神科継続支援料」加算の要件研修となっている「自殺再企図防止のための救急患者精神科継続支援研修会」を受講しました。

★どのような研修会ですか？

自殺再企図を防止する支援プログラムに沿って、2日間多職種と共にロールプレイや事例検討などを行いました。自殺を考える人はどのような心理傾向があるのか、どのようにコミュニケーションを取る必要があるのかなど、普段の患者さんとの関わりに活かせることも多く学びました。

★研修を受講しようと思った動機は？

今の部署に配属されるまで自殺企図者のケアに関わることがなかったので、どのように患者さんのケアを行うか、また一人の患者さんに医師・看護師・精神保健福祉士・臨床心理士などの多職種が関わる中での看護師の役割を学びたいと思い受講しました。

★今回の学びをどのように活用していきたいですか？

日常の業務に活かせることもいろいろ学びましたが、自殺再企図防止の支援プログラムに看護師の視点を活かし積極的に参入していければと思っています。そのためにも、今は精神保健福祉士や臨床心理士の面談に同席し、社会資源の調整などを勉強し、自分の引き出しを増やしている段階です。今後少しずつ救急部との連携、自殺再企図防止のための外来での面談などにも継続的に関わることができればと思っています。



師長さんと木曾さん・病棟のスタッフ

育児をしながら道外の研修に積極的に参加し、公私共に頑張っている木曾さんのインタビューでした！

今回インタビューに伺った北4階病棟は、師長さんを始めとし、明るく雰囲気が良い病棟であることが伝わってきました(^^)/

フレンズインタビューは、キラキラと輝いている看護職員を紹介しています。次はあなたの番かもしれませんよ～！

センター事業の一コマ

ママ&パパのランチオン交流会

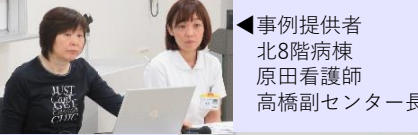
★ママフレンズ★

産前・産後休暇中、育児休業中、育児をしながら仕事をする看護職員が計9名参加しました。復帰に向けての悩みや、パパ目線での子育てエピソードなど様々な話題で盛り上がりました。交流会の後は、毎年好評のヨガでリラックス！

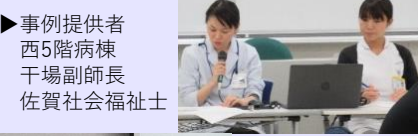


★在宅療養支援事例検討会★

10・11・12月と計3回事例検討会を開催し、延べ80名の方が参加しました。多職種（特に医師）との情報共有や連携の必要性を実感した事例でした。



事例提供者
北4階病棟
原田看護師
高橋副センター長



事例提供者
西5階病棟
干場副師長
佐賀社会福祉士



事例提供者
中央3階病棟
大谷看護師
不破主任看護師

事例提供して下さった病棟、退院支援係の皆様ありがとうございました！

